

南信州広域連合第5回広域連合会議 結果報告

日時：平成27年8月6日(木)15:53~16:35

場所：長野県南信消費生活センター

1 開 会…15:53

【出席者】13市町村長・高森副町長・佐藤副管理者

〔下伊那地方事務所〕有賀所長・松田副所長・今井地域政策課長・細野地域政策課長補佐兼企画振興係長

〔飯田保健福祉事務所〕寺井所長

〔飯田建設事務所〕水間所長

〔飯田 OIDE 長姫高等学校〕塚田教諭・嶋村駿吾さん（生徒）

〔町村会〕牛久保事務局長

〔飯田広域消防〕桂消防長・関島消防次長兼総務課長

〔飯田環境センター〕北原事務局長補佐兼新焼却施設整備担当専門主査

【事務局】渡邊事務局長・塚平事務局次長・北原事務局次長補佐兼庶務係長・秦野事務局次長補佐兼広域振興係長・前沢庶務係主事

2 広域連合長挨拶

昨日の太田国土交通大臣への対応について、皆様のご尽力のお陰で非常に充実した視察になったのではないと思う。本日の広域連合会議の中でもそれぞれ課題となっているところについて議論していただきながらリニア中央新幹線・三遠南信自動車道について進めてまいりたい。

3 協議・報告事項

(1) 医療と介護連携について

…資料1による説明（渡邊事務局長）

「在宅医療・介護連携推進事業」と題して、厚生労働省から平成30年4月に8つの項目について事業推進する旨の指針が示された。それに向けて資料のとおり協議会としてお集まりいただき、先般から検討を開始した。

資料裏面の専門部会として、協議会の委員の皆様を2つのグループに分けて、それぞれの項目について検討をしていく方向で考えている。当面では今年の10月頃と考えているが、新年度予算が対応な部分があるとするれば、それに間に合うように何らかの集約をしていきたい。また来年度から取り組めることや再来年度から取り組めることを整理しながら行っていきたい。

テーマについては、逐次部会を通じて広域連合の場にご報告し、必要なご意見をいただいて協議会へフィードバックしていきたい。現在のところは検討の項目等を大きく整理した段階で、それぞれの項目について何か具体的な案があるということではないため、本日は経過としてご報告させていただく。なお、本日の医師会との懇談の中でも医療・介護連携の話が出されるかと思うが、こういった組織で動き始めているということで本日のところはご了解賜りたい。

【質疑なし】

(2) 信州木曾看護専門学校地域特定推薦について

…資料2による説明（渡邊事務局長）

昨年度も地域特定推薦枠で1名いただいた。先般信州木曾看護専門学校の協議会があり、その席で「来年度（平成27年度）も推薦枠は1名」という話があった。資料に示すとおり昨年とほぼ同様で、

同じ手順に従って高等学校へ推薦依頼し選定を行うという手続きを進めていく旨をご承知願いたい。
【質疑なし】

(3) 南信州地域への定住・二地域居住可能性調査について

…資料3による説明（塚平事務局次長）

平成25年度に契約し、昨年度実施させていただいた調査報告。「別荘・別宅」を保有する30歳以上の者を対象に実施した結果を資料へ掲載した。今年度については昨年度の調査結果を基に継続調査となるが、少し対象を変えて、違った視点から調査を行っていきたい。

今年度調査目的について。一つ目は「当地域は全国的な課題でもある人口減少・少子高齢化が全国平均を上回って進行しており、人口対策が喫緊の課題である」ということ。二つ目は当広域連合が昨年度に策定した基本構想・基本計画において、「当地域が一体となって進める地域づくりの方向性に定住促進を据え、その実現に向けたプロジェクトとして二地域居住可能性調査が位置づけられる」ということ。三つ目はこの二地域居住・定住促進へのターゲットとして、不特定多数ではなくUIJターンの実践者に対象を絞り、その動機・時期及び期間等を調査することで、当地域内のゾーニングや今後の施策展開の方向性を探るため。最後は愛知大学との共同研究として実施した当地域へ実際に移住・二地域居住されている皆様への調査及びアンケートとの関連性をふまえた比較検証の実施。

こういった目的をふまえ、今年度については「地方部へのUIJターンを過去に実施し、現在も居住している25歳以上で、居住地が三大都市圏以外の人口15万人以下の市町村にいる者」とした。

調査方法については昨年同様、インターネットによるWebアンケート調査を実施。

調査の内容について。①UIJターンに関して…実施時期及び期間等。②個人属性…性別・年齢・職業及び家族構成等。③居住地に関して…地域の選択理由及び居住地に対する評価等。④UIJターン実施時の状況に関して…行政サービスの有無及び情報の入手方法等。またこの中のひとつの項目として、近い将来元の地に戻る考えを持つ方にもその理由に対して調査を行っていく。そういった内容をまとめることで、定住促進・二地域居住施策実行のためのデータを蓄積していく。

履行期間については平成28年3月18日までとしているが、年内に速報の数値をまとめて、年末までに広域連合会議において中間報告をさせていただき、年度末に最終報告をさせていただく。

【質疑】（下平豊丘村長）

東京の関係者との話では、「都市部には、自分のやりたい仕事やしっかり稼げる仕事があれば、家族で田舎に移住したいという人たちは山ほどいる」とのこと。某アウトドアメーカーが都市部から新潟県へ会社ごと移動して良い結果をもたらしたという本社移動での成功例もある。田舎のスローライフを求めながらも田舎にきちんとしたファーストワークがあれば、子育てや生活費の面での不安が軽減する都市部の方々は多数いると思う。そういった切り口のところも研究の対象に入れていただきたい。

【応答】（塚平事務局次長）

現実に南信州地域に来られている方にはそういった部分の実態もふまえてアンケート調査等を実施している。それに今のご意見をあわせていく方策を考えていきたい。

(4) 桐林クリーンセンターの状況について

…資料4による説明（北原飯田環境センター事務長補佐兼新焼却施設整備担当専門主査）

7月28日に竜丘地区へ桐林クリーンセンターの稼働状況について報告した資料。平成26年度の搬入量については前年とほぼ同じ量で推移している（平成23年度からほぼ横ばい）。詳細内容については資料を参照願いたい。

【質疑なし】

(5) 大学入試センター試験会場について

…資料5による説明（渡邊事務局長）

要望活動後の状況についての報告。7月21日に県教委が信州大学長宛に協力依頼の要請を出した。その後、県下4地区の連絡会議が開催される。そのセンター試験に従事する大学の関係者を集めての調整会議に今回は県教委もオブザーバーとして参加する。その会議が今月中に行われ、そこで私共の要望について検討される。その議論の様子を県教委にお聞かせいただいて、その中で広域連合として何らかの対応が必要となればご相談させていただき、時間をあけないように対応していきたい。

【質疑】（伊藤副連合長）

県教委が動いてくれてこれから次の検討に入るということだが、そこで結論が出てから対応していくのがいいのか、今もう一度推しておくのがいいのか、広域連合事務局としてはどうか。

【応答】（渡邊事務局長）

この連絡会議で、「仮に試験会場を飯田高校に持ってくるにはどんなことが課題となるか」が明らかになってくるのだと思う。連絡会議の様子をみて対応する予定。連絡会議後の方が今後の要望や活動の対象が明確になってくると思うので、そこで間髪入れずに次の対応を考えたい。

【質疑】（伊藤副連合長）

連絡会議が1回で終わってしまったらどうなるか。そういった可能性はないのか。

【応答】（渡邊事務局長）

その場で「YES」という結論になればいいが、「それは無理だ」ということにはならないと思うので、そこでその様子を見てからでも遅くはないかと思われる。

(6) いいむす21について

…資料6による説明（秦野事務局次長補佐兼広域振興係長）

審査の結果「適合」と認められた1件の登録をお認めいただきたい。区分は初級（更新）、飯田建設株式会社様。また今回 IS014001 南信州宣言を新たに取組む「南信州いいむす21」取組宣言を勝間田建設株式会社様がされていて、現在最上位の IS014001 南信州宣言に向けて取組みをいただいている旨をご報告させていただく。

【質疑なし、承認】

(7) 熱中症疑いによる救急搬送の状況について

…資料7による説明（関島消防次長兼総務課長）

資料は8月5日現在。本日の8時30分現在では熱中症疑いの搬送人員は60名。昨年同日と比較し12名の増加。昨年の調査期間にふまえると搬送人員は57名で9名の増加。搬送された年齢区分については、65歳以上の高齢者が43名で全体の72%を占める。傷病程度については、入院の必要のない軽症患者が39名で全体の65%を占める。大変気温の高い日が続いているため、今後様々な機会をとらえて引き続き予防広報に努めていく。盆前に各市町村で計画されているイベント開催時において、注意喚起にご配慮願いたい。

【質疑なし】

(8) 平成27年の火災の概要について

…資料8による説明（関島消防次長兼総務課長）

資料は8月4日現在のまとめ。本日においても件数に変更なし。58件の火災が発生し、昨年同日と比較すると21件の減少。建物火災については35件発生し3件の増加。屋外における火の取扱いが起因する火災については20件の減少。上半期統計でご報告したとおり、建物火災によって4名の方が犠牲になっている。引き続き火災予防広報に努めていく。

【質疑なし】

(9) 御嶽山噴火災害に係る行方不明者の捜索実施について

…資料9による説明（関島消防次長兼総務課長）

長野県の市町村相互応援協定に基づき、飯田広域消防から職員5名を派遣し、7月28日の出隊から本日までで9日目になる。実際の捜索は7月29日から開始。行方不明者の状況については、6名の行方不明者の中から1名が7月31日に一ノ池付近(岐阜県境)で発見された。未だ5名の方が行方不明。資料の別添は飯田広域消防の活動場所を示した図。長野県隊(県警含む)を2つの中隊に分けて活動しており、飯田広域消防職員は剣ヶ峰から黒沢十字路、及び剣ヶ峰南東斜面を主に捜索している。御嶽山の再捜索については、県の災害対策本部では7月29日から10日間程度をひとつの区切りとして本日災害対策本部長を含めて検討中とのことで、その結果が出たら改めてご報告させていただく。

【質疑なし】

(10) 後援依頼

…資料10による説明(北原事務局次長補佐兼庶務係長)

資料10-1について【報告】…「品川聖プロデュース南信州阿智村コンサート」(品川聖阿智村コンサート実行委員会)の後援依頼。承諾の期限が7月末だったため、連合長決裁を受け承諾させていただいた。詳細については資料参照。

資料10-2について【報告】…「うるぎ絶景マラニック」(うるぎ絶景マラニック実行委員会)の後援依頼。こちらも承諾の期限が7月末だったため、起案にて連合長決裁を受け、承諾の連絡をさせていただいた。詳細については資料参照。

資料10-3について【協議】…「第16回EMCシンポジウムIIDA2015」(公益財団法人南信州・飯田産業センター理事長)の後援依頼。昨年度も後援承諾されている。後援の内容についてはPR・チラシ等への名称掲載。詳細については資料参照。

資料10-4について【協議】…「第44回全日本天竜川カヌー競技大会」(高森町長)の後援依頼。こちらも昨年度後援承諾されている。後援の内容についてはパンフレット等への名称掲載。

以上、ご審議願いたい。

【質疑なし、後援承諾】

(11) その他 「第6回全国源流サミット in 長野県根羽村」について

…資料(ナンバーなし)による説明(大久保根羽村長)

このサミットは全国の河川の上流地域にある自治体21市町村で構成されている(全国源流の郷協議会)。毎年各流域を回って源流サミットを開催しており、今年は矢作川の源流地である根羽村が開催地となり、すでに準備を進めている段階。開催期間は9月4日～9月6日。9月5日(土)13時からがメインの部分で、基調講演やパネルディスカッションを行い、矢作川流域連携の取組みを全国に向けて発信したい。同日夕方からは「全国源流の集い」と題して参加者全員で交流を深めたい。市町村長の皆様方をはじめ、多くの皆様にご参加願いたい。

【質疑なし】

4 長野県

●下伊那地方事務所…なし

●飯田建設事務所

…資料(ナンバーなし)による説明(水間所長)

「歩切りの廃止による予定価格の適正な設定について」(国土交通省からの資料)県の建設部から市町村の皆様方に徹底していただきたい内容。公共工事の品質確保の促進に関する法律(品確法)の改正により、「歩切り」による予定価格の切り下げは法律違反であることが明確になった。なぜ「歩切り」を根絶すべきかという理由については、特に「担い手の中長期的な育成・確保に必要な適正な利潤を受注者が確保できない恐れがある」という点。「歩切り」の違法性については資料内容を参照。具体的な「歩切り」の事例については、特に「事務の効率化のため、設計書金額の端数を切り下げて予定価格を決定」することだが、但し書きで「極めて少額にとどまるときにはやむを得ない場合がある」と

ある。このように例外規定が記されているが、「極めて少額」の基準がないため、できれば例外規定を使わず設計書金額で発注をお願いしたい旨を改めて情報提供させていただく。

●飯田保健福祉事務所…なし

5 今後の日程

8月31日(月) 広域連合議会第2回臨時会
9月11日(金) 化学消防ポンプ自動車受納式
広域連合会議

6 その他

●飯田 OIDE 長姫高等学校全国高校生合同販売「デパートゆにっと」について

…口頭による説明(塚田飯田 OIDE 長姫高等学校教諭)

本校では南信州の魅力を詰め込んだお弁当の開発をしている。本日は実際にお弁当の開発に携わった生徒の思いを聞いていただきたい。

…資料(ナンバーなし)による説明(飯田 OIDE 長姫高等学校 嶋村駿吾さん)

「デパートゆにっと」というイベントが8月18・19日にながの東急百貨店にて開催され、そこで高校生が開発した商品を販売する。私たちは南信州の食材を使用した「小さな玉手箱」という商品を開発し、コンセプトは「南信州の魅力で彩るおぼんざい」とする。14市町村すべての味覚を詰め込んで、この箱を皆で囲み、家族団らんの楽しい時間を演出するイメージで開発した。詳細は資料参照。

私が住む南信州にある地域の風土や人々の温かさなど、南信州の宝物を北信へ届けていきたい。この玉手箱のメインには伝統野菜を据えており、伝統野菜を次の世代に語り継いでいくため、私たちはこの物語・宝物を多くの人に伝えたいという思いでこの商品を開発した。

市町村長の皆様へのお願いとして、私たち若い世代がこうした思いを持って活動しているということを皆様の口から地域住民の皆様へ伝えていただきたい。私たちのゴールは、私たちの思いをどこまで広く伝えられるかということ。

資料に掲載した材料等は検討中であり変更・追加が可能のため、皆様のご意見をいただきたい。

【所感】(大久保根羽村長)

根羽杉を使っただけ大変嬉しく思う。嶋村さんの熱い思いをしっかりと地元でPRしていきたいと思う。将来はぜひ地域に貢献していただきたい。

【所感】(牧野広域連合長)

今回の内容は、飯田 OIDE 長姫高等学校の地域人教育のひとつの成果として大変嬉しく思う。イベントでのPR活動を頑張ってください。

7 閉会…16:35